

令和2年度

西宮文学案内

春期講座

古くから文学作品などに登場することの多かった西宮。
関わりある作家や作品をとり上げその魅力を探っていきます。

第1回 4月26日(日) 西宮ゆかりの作家 藤本義一の思い出

14:00～15:30

新型コロナウイルス感染拡大防止のため 延期いたします。

作家藤本義一(1963年、堺市出身。9歳より西宮在住。切り絵やスト疾患と家族の患者会(後期講座として振替実施予定です)『年高、関学大卒。西宮在住。』
西宮とゆかりの深い直木賞作家 藤本義一

対談：中田有子 なかた ゆうこ (長女) 藤本義一 藤本まこと(次女)

芦屋市奥池町「藤本義一の書斎」館長「アスペ」1963年、堺市出身。9歳より西宮在住。切り絵やスト疾患と家族の患者会(後期講座として振替実施予定です)『年高、関学大卒。西宮在住。』

河内厚郎 かわうちあつろう (後期講座として振替実施予定です) 日程等詳細は未定です。

1952年西宮市生まれ。演劇評論家として執筆業に入る。「関西文学」編集長を2期15年務める。兵庫県立芸術文化センター・特別参与。阪急文化財団理事。西宮市文化振興財団評議員。著書に『わたしの風姿花伝』『淀川ものがたり』など。時事通信の書評を担当。

※ 藤本統紀子さんは出演しません。



第2回 6月14日(日) 阪神淡路大震災の5年 作家たちは何に伝えたか

新型コロナウイルス感染拡大防止のため 延期いたします。

阪神・淡路大震災では西宮で被災した作家たちも心に痛手を受けた。5年経った今、彼らがどのように震災を捉え、どのように伝えてきたか、小松左京、(後期講座として振替実施予定です)のフィールドワーカー本輝、田辺聖子、遠藤周作、須賀敦子は、(後期講座として振替実施予定です)線文学散歩』等で谷崎潤一りの作家たちのエッセイや小説から読み取ることが出来る。日程等詳細は未定です。



第3回 8月2日(日) 小田実と戦後デモクラシー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため 延期いたします。

永遠の世界旅行記『何でもみてやろう』や『ベ平連』などの反戦平和運動、また震災後「被災者生活再建支援法」成立に大きく寄与した小田実氏は、ロータス文学賞、川端康成文学賞(後期講座として振替実施予定です)作家。阪神間モダニズムを愛し、仁徳(後期講座として振替実施予定です)宮や神戸が舞台の小説や評論も多数。ギリシャ古典文学がルーツの小田氏と戦後デモクラシーの軌跡を辿ります。日程等詳細は未定です。



会場 西宮市立勤労会館 ホール(松原町2番37号) ※ 全回とも
・JR「西宮駅」南徒歩7分 ・阪神「西宮駅」東徒歩10分

▲単発受講可。但し、抽選となる場合は連続受講希望の方を優先します。

定員▲各回400名

受講料▲各回500円

お申込み▲ハガキ、FAX、ホームページ“お問い合わせ欄”の何れかにて①受講希望日②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別⑦電話番号を記入の上お申込みください。

締切/4月10日(金) 必着 ※ 定員に満たない場合は締切後も受け付けます。

宛先▲〒662-0918 西宮市六湛寺町10番11号

(公財)西宮市文化振興財団「西宮文学案内」係

FAX.0798-33-3455 ホームページ <https://nishi-bunka.or.jp/>

※ 複数名でのお申込み(3名まで可)は、全員について上記①～⑦を記入ください。

※ 定員を超えた場合は抽選で受講者を決定します。当落結果は4月中旬に郵送します。

